

奈良中心市街地公共交通 総合連携計画見直しの基本方針

1.奈良中心市街地公共交通総合連携計画見直しの理由

(1) 連携計画主要プロジェクトの実施

- 計画に位置づけられた主要プロジェクトが概ね実施され、各目標及びモニタリング指標の達成状況を確認した上で、公共交通を取り巻く情勢の変化を踏まえ、新たな課題に取り組む必要がある。

(2) 交通渋滞及び環境悪化対策のさらなる推進

- 世界遺産等の奈良の文化財や自然環境の保護に向けて、奈良中心市街地における観光交通及び日常交通の状況を踏まえ、さらなる公共交通を中心とした交通システムを構築していく必要がある。
- また、奈良公園周辺への乗用車流入抑制方法の確立等、観光シーズンの渋滞緩和を推進していく必要がある。

(3) 持続可能な公共交通体系の構築

- 地域ぐるみの利用促進、公共交通サービスの情報提供等に要する経費等について、一定の要件の下、国が補助できる地域協働推進事業費補助金が創設されたことを踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向け、地域関係者が協働・連携しながら確保・維持に向けて取り組みを進める必要がある。

(4) 上位・関連計画との整合性

- 平成22年度、国が実施した交通実態調査（パーソントリップ調査）等の法定調査データが随時公表されていることや、奈良県交通基本戦略（H23.3）や奈良市第4次総合計画 基本構想・計画（H23.3）、奈良公園基本戦略（H24.2）が策定されており、上位・関連計画との整合を図る必要がある。
- 奈良市第4次総合計画 基本構想・計画では、移動快適性・交通の質の向上、他の交通手段への乗換え容易性向上等と、安全性の確保を目指すとしており、関連する取り組みを進めていく必要がある。

2.これまでの検討経緯

- 平成23年3月に連携計画を策定後、平成23年8月に、モビリティマネジメントを実施施策に追加。
- 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会及び公共交通活性化協議会において、施策の実施状況や目標値の達成状況について報告し、PDCAにより継続的に施策展開。

表 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会及び公共交通活性化協議会の開催経緯（平成23年度以降）

年 月 日	概 要
平成23年3月	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成23年8月17日	第10回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・GWの交通対策の結果について ・秋の交通対策(案)について
平成23年8月22日	第5回奈良中心市街地公共交通活性化協議会 ・奈良市地域公共交通活性化協議会準備会との合併について ・準備会の提言を受け、連携計画にモビリティ・マネジメントを位置付け ・平成23年度の取り組み状況 ・平日交通対策について
平成24年1月19日	第6回奈良中心市街地公共交通活性化協議会 ・観光交通対策の取り組みについて ・平日交通対策について 平成24年度におけるモビリティマネジメントの実施方針
平成24年2月24日	第11回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について
平成24年3月22日	第12回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について ・奈良公園基本戦略 ・奈良県交通基本戦略
平成24年5月30日	第13回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について
—	第7回奈良中心市街地公共交通活性化協議会(書面決議) ・奈良公園ぐるっとバス、中心市街地周遊バス、木筒型一日フリー乗車券、 ・平成23年秋の交通対策の結果と平成24年春のP&BR実施方針について
平成24年8月	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定 ※日常交通対策の追加
平成24年8月1日	第14回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について
平成24年8月10日	第8回奈良中心市街地公共交通活性化協議会 ・連携計画の変更について ・平成24年度春観光シーズンの実施事業と秋観光シーズンの実施予定事業について
平成24年11月5日	第15回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について
平成25年2月8日	第16回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 ・奈良中心市街地の交通対策について

3.連携計画策定の目的と基本方針・計画目標(案)

○策定の目的

- ・奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」等の重要な史跡・文化財が数多く点在
- ・年間1400万人の観光客が訪れ、「平城遷都1300年祭」を契機にさらなる観光客が増加
- ・観光交通の増加から、交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻化しており、環境負荷の小さい交通体系の構築が求められる

- ・奈良中心市街地内での移動について、地域住民及び公共交通事業者等の関係者が一体となり、総合的な検討を進める
- ・快適な公共交通環境を整え、公共交通を中心とした交通システムを構築し、地域の快適性向上と活性化を図り、観光客の満足度向上と世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目指す

○基本方針

○地域に親しまれ、観光客に好まれる、公共交通網の構築による地域活性化の実現

- ・地域の快適性向上と活性化
- ・観光客の満足度の向上
- ・世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護

○計画目標

- | | |
|---------------|--|
| □観光交通に対する計画目標 | <ul style="list-style-type: none">・渋滞の緩和・わかりやすい公共交通利用環境の提供・奈良公園・中心市街地内の移動環境の向上 |
| □日常交通に対する計画目標 | <ul style="list-style-type: none">・マイカー通勤から公共交通利用への転換 |

4.計画対象区域と計画対象期間

○計画対象区域

計画対象区域は、「奈良公園・平城宮跡・西の京等を含む奈良中心市街地」とする。

○エリア1：奈良公園周辺

- ・交通の流入を抑制
- ・エリア内の駐車場の需要調整
- ・エリア内での観光客の回遊性を高める 等

○エリア2：西の京～平城宮跡～奈良公園を含んだ地域

- ・交通の流入をできるだけ少なくする
- ・エリア周辺でのパーク＆ライド駐車場（バスライド、サイクルライド等）の設置
- ・シャトルバス等、移動の円滑性を確保する 等

○エリア2'：平城宮跡等の拠点整備状況を踏まえ、優先的に実施する地域

- ・当面の対策エリアとして、交通の流入を特に少なくする

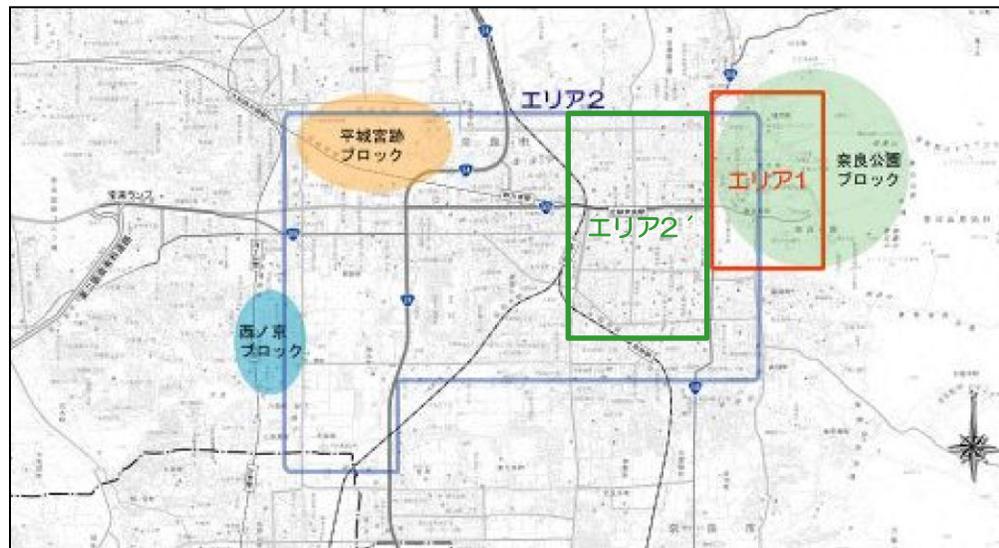


図 計画対象区域

○計画対象期間

計画対象期間は、平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)までの3カ年とする。

○前回：2011年(平成23年)から2013年(平成25年)

○参考：奈良県都市計画区域マスタープラン(目標年次：平成32(2020)年度)

奈良市第4次総合計画 基本構想(目標年次：平成32(2020)年度)

奈良市第4次総合計画 基本計画(目標年次：平成27(2015)年度)

5.連携計画の施策体系

○次連携計画では、「駐車場利用の平常化」、「鉄道駅等での乗り継ぎ利便性向上」の施策を追加し、既連携計画の「携帯電話サイトの設置」の施策は削除。

■既連携計画の施策

計画目標	施策	具体的な取り組み
渋滞の緩和	① 公共交通の効果的な広報の実施	○チラシポスターの掲示 ○ホームページの充実 ○ラジオ、道路情報板等での情報提供
	② パーク&ライドの実施	○パーク&ライドの実施 ○パーク&ライドの広報
	③ 観光バスの需要調整	○駐輪場予約制の導入

計画目標	施策	具体的な取り組み
わかりやすい公共交通利用環境の提供	① バス停や鉄道駅等での案内情報の充実	○バス情報案内機器の設置 ○携帯電話サイトの設置

計画目標	施策	具体的な取り組み
奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	① 公園周遊バスの運行	○公園周遊バスの運行
	② ターミナルの検討	○ターミナルの検討
	③ 観光拠点間の移動環境の充実	○中心市街地内観光周遊バスの運行 ○バスの上屋新設置等リニューアル
	④ ならまち・高畑界隈への動線確保	○ならまち・高畑界隈への動線確保
	⑤ 定期観光バスの平城宮跡への乗り入れ	○定期観光バスの平城宮跡への乗り入れ

計画目標	施策	具体的な取り組み
日常交通対策	① 公共交通に対する意識の喚起	○モビリティ・マネジメントの実施

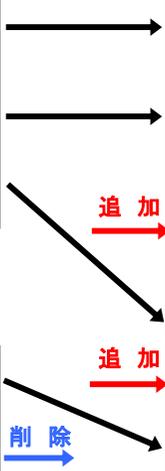
■次連携計画の施策

計画目標	施策	具体的な取り組み
渋滞の緩和	① 公共交通の効果的な広報の実施	○チラシポスターの掲示 ○ホームページの充実 ○ラジオ、道路情報板等での情報提供
	② パーク&ライドの実施	○パーク&ライドの実施 ○パーク&ライドの広報
	③ 駐車場利用の平常化	○駐車場案内板の整備 ○JR奈良駅前市営駐車場の利用促進
	④ 観光バスの需要調整	○駐輪場予約制の導入

計画目標	施策	具体的な取り組み
わかりやすい公共交通利用環境の提供	① 鉄道駅等での乗り継ぎ利便性の向上	○鉄道・バスが一体となった来訪手段の提供
	② バス停や鉄道駅等での案内情報の充実	○バス情報案内機器の設置

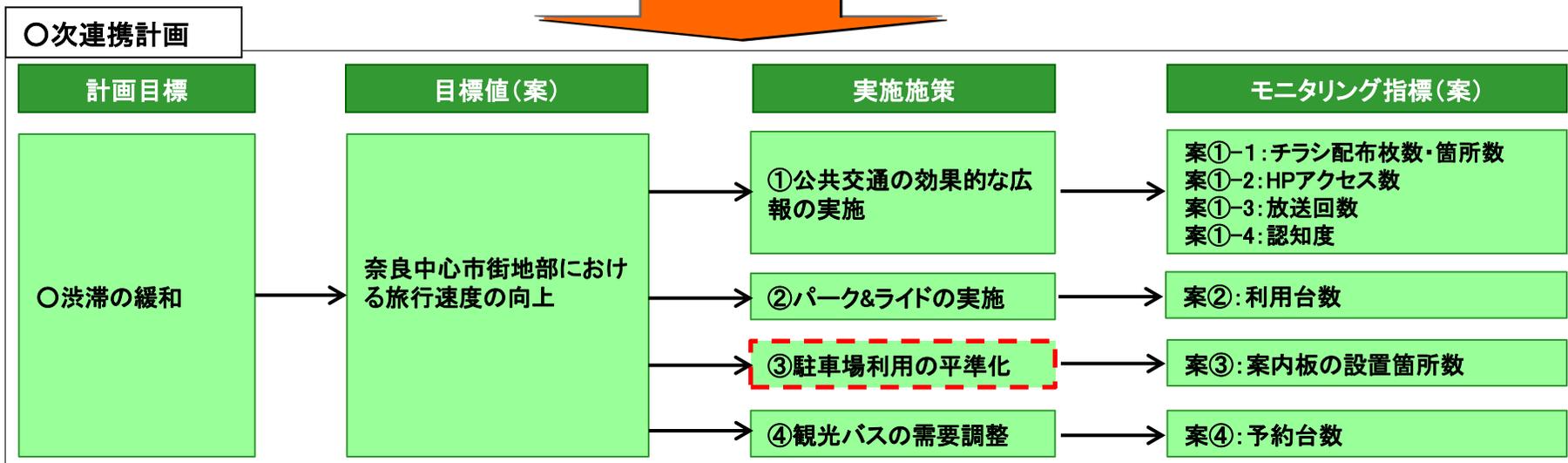
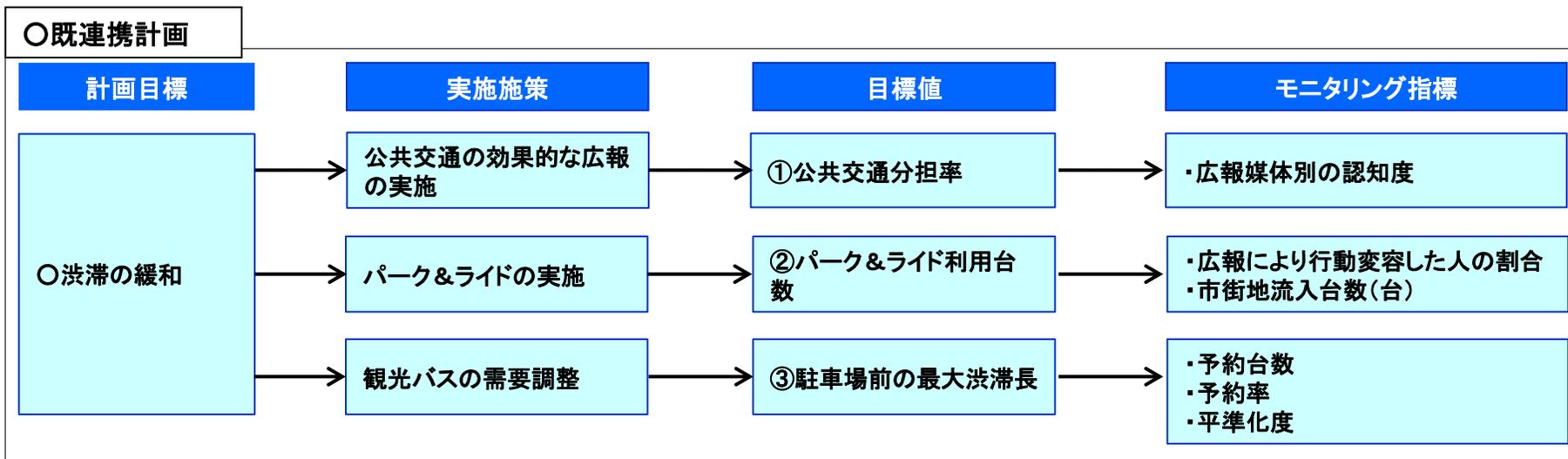
計画目標	施策	具体的な取り組み
奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	① ターミナルの検討	○ターミナルの検討
	② 観光拠点間の移動環境の充実	○中心市街地内観光周遊バスの運行 ○バスの上屋新設置等リニューアル
	③ ならまち界隈への動線確保	○ならまち界隈への動線確保
	④ 定期観光バスの平城宮跡への乗り入れ	○定期観光バスの平城宮跡への乗り入れ

計画目標	施策	具体的な取り組み
日常交通対策	① 公共交通に対する意識の喚起	○モビリティ・マネジメントの実施

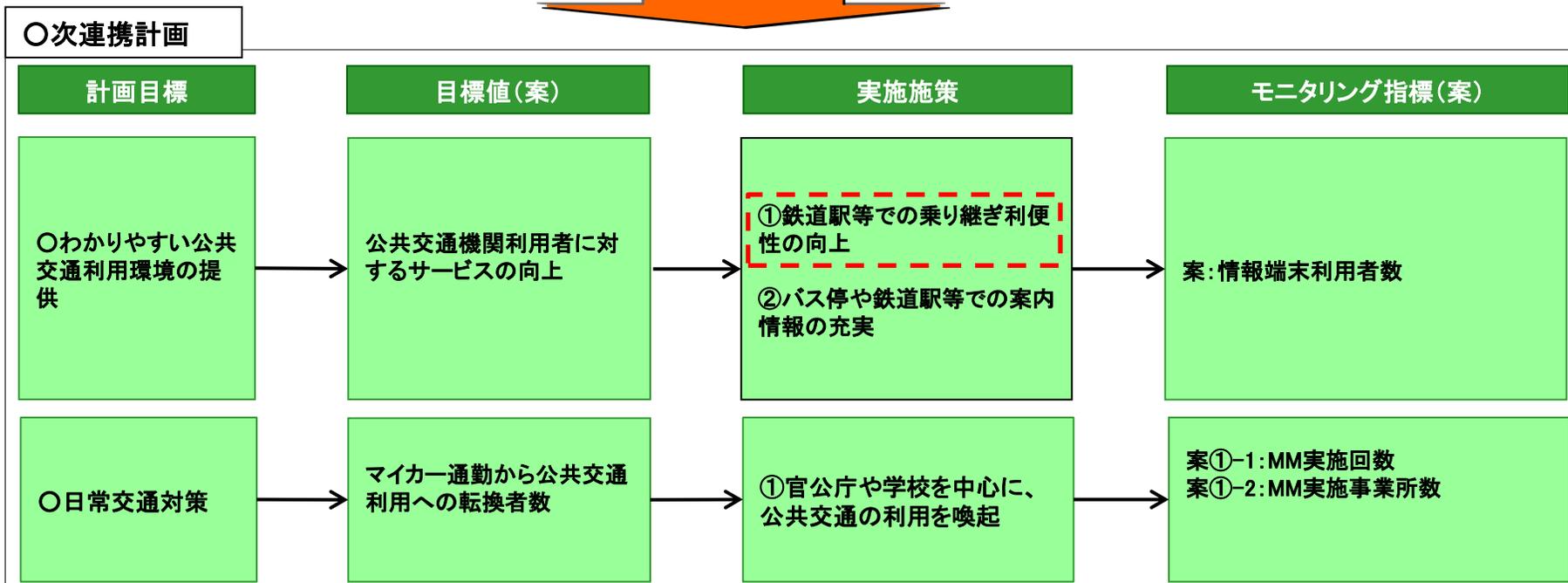
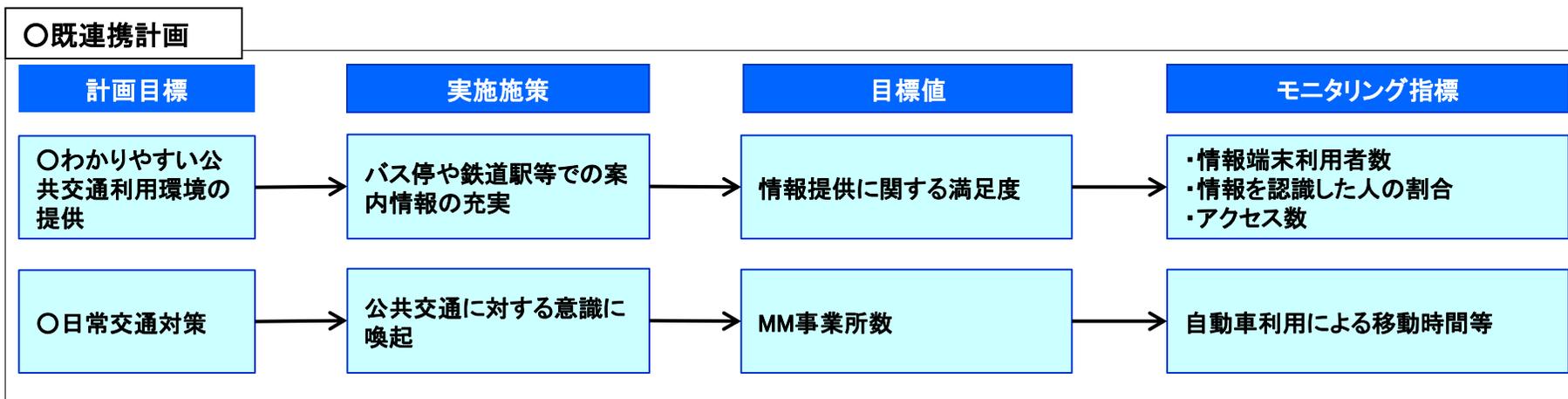


6.計画目標と目標・モニタリング指標の体系化

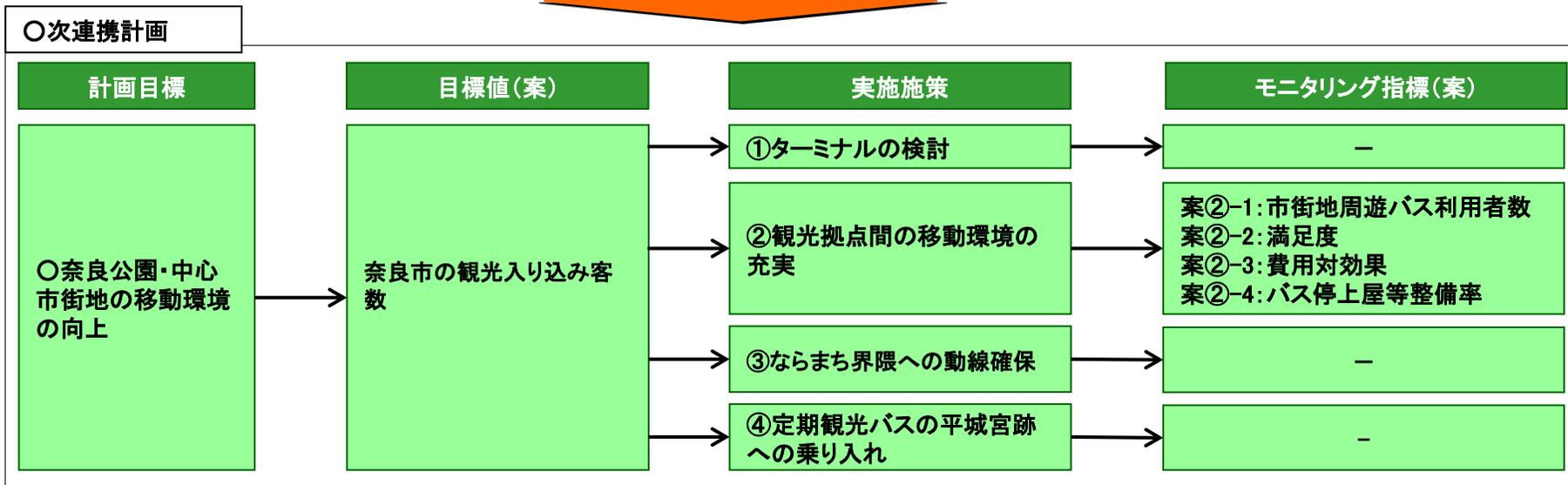
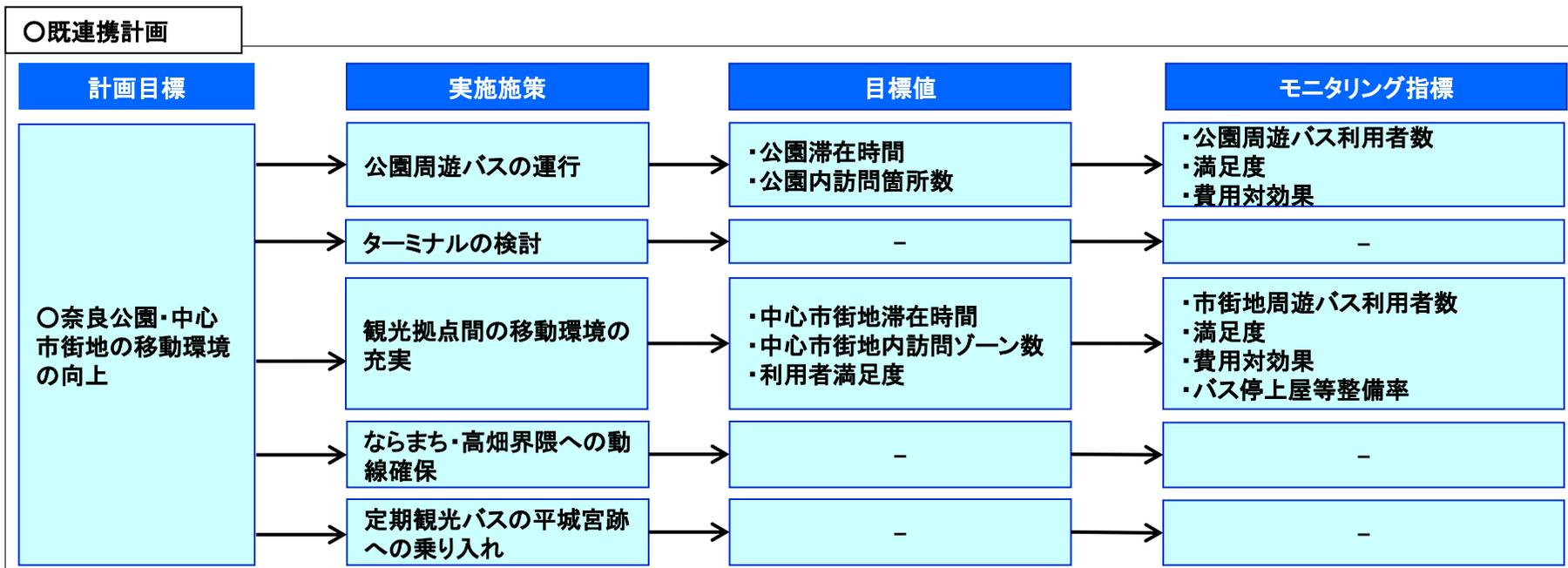
○目標値は、計画目標と連動するものとし、モニタリング指標は、実施施策と連動した継続的にデータ取得が容易なものとするよう指標の体系を改訂する。



6.計画目標と目標・モニタリング指標の体系化



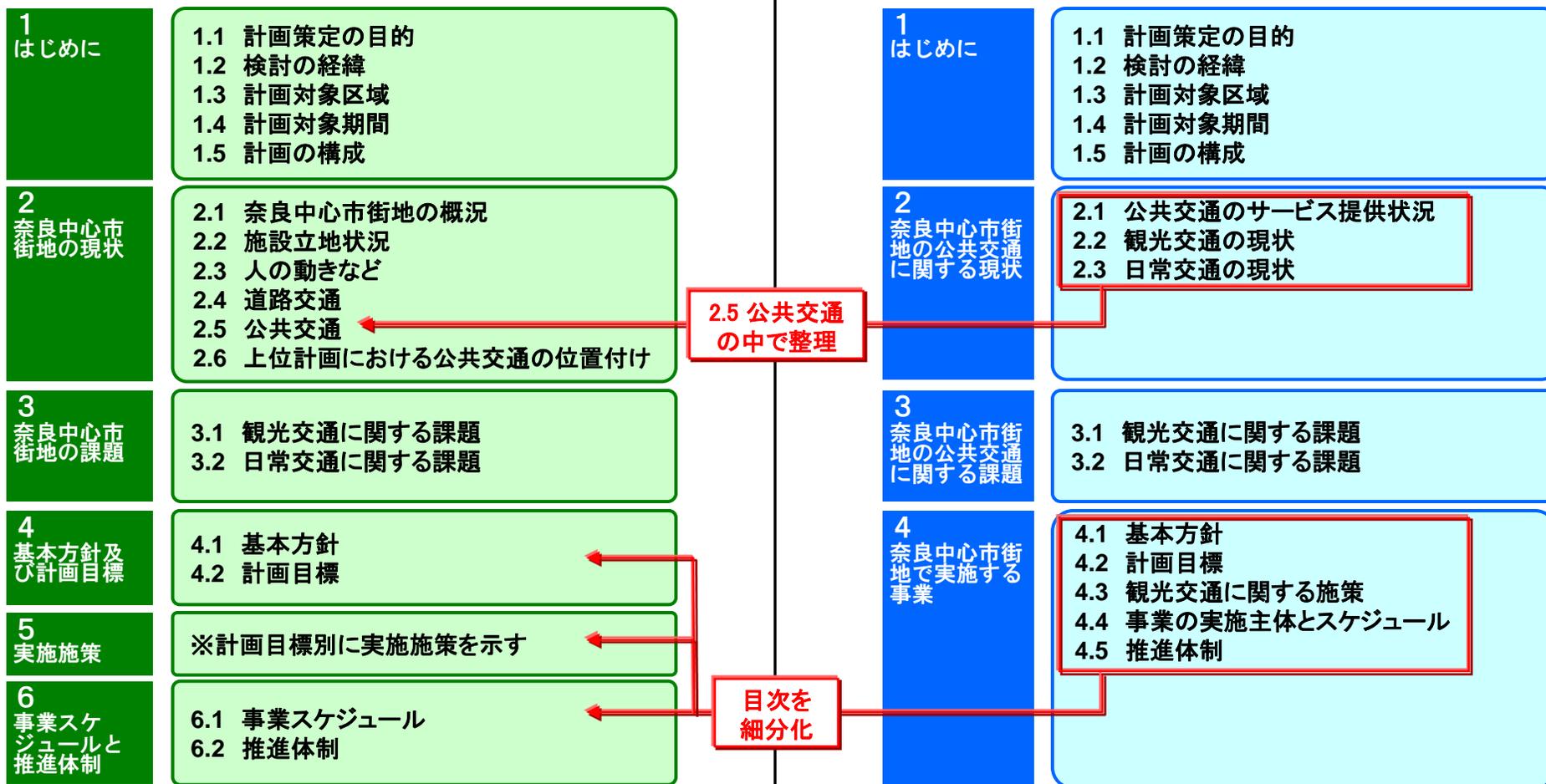
6.計画目標と目標・モニタリング指標の体系化



7.連携計画の目次(案)

- 奈良中心市街地は、観光ピーク時及び通勤通学時等にネットワーク上の様々な箇所で交通渋滞が発生しており、総合的な環境負荷の低減が求められる。
- 連携計画の目次は、地域概況及び施設立地状況等の地域特性を整理した上で、交通の側面から課題を整理し、改善に向けた基本方針及び実施施策等を示す。

見直し案 ← → 現計画 (H24.8策定)



8.検討スケジュール(案)

○関係機関との協議を進め、今年度中に計画内容を見直した新しい連携計画を策定する。

表 検討スケジュール(案)

	平成25年						平成26年	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
・協議会の開催		■			■			
・関係機関協議の実施	■		■	■	■	■		

第10回協議会の議題 (H25. 12月中旬 開催予定)

- ・奈良中心市街地における現状及び課題
- ・計画目標と実施事業
- ・事業スケジュール
- ・事業実施推進体制